

2.目標達成計画

事業所名 グループホームみなみ阿蘇

作成日: 平成 22年年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	1月に「理念に沿ったケア」の勉強会を実施。まだ全ての職員へは、浸透していない。	職員全てが、理念に沿ったケアを意識し実行出来る。	2ヶ月に1回の自主勉強会で、継続して勉強し理解を深める。	12ヶ月
2	26	個別援助計画は、作っているが具体的ではなく、実施後のチェックが出来ていない。	個別援助計画が分り易く、チェックすることで達成感、効果が目に見える。	個別援助計画の書式をスタッフ間でも話し合い、分り易くチェック機能のついたものへ変更していく。	6ヶ月
3	36	利用者の方に対する言葉かけや対応の見直し	個人を尊重した言葉かけや対応が出来る	接遇についての勉強会を行い、実践から職員同士で評価する場を持つ。	6ヶ月
4	23	利用者一人一人の思い、意向の把握、能力の向上に対する対応の見直し	利用者の生活歴、希望、趣味等をホームでの生活の中でも継続していける。	全職員が、利用者一人一人の生活歴、希望、を把握し、他事業所やPT等とも連携をとり、思いを実現出来る様会議や申し送りの時に話しあう。	6ヶ月
5	52	共用空間の活用	居心地の良い空間作り	入居者の方がただ座って眺めるだけでなく、一緒に歌を歌ったり、積極的に会話が出来るように職員が環境の一部になる。	6ヶ月
6	40	利用者参加の食事作り	食事を食べるだけでなく、準備や片付けまで一緒に楽しく出来る	野菜の栽培過程を見たり、これまでの経験が引き出されるような保存食作りを一緒に行う	6ヶ月

7	49	入居者の方の高齢化や重度化に伴い、日常的な外出支援が少ない	日常的な外出支援を計画して行う	毎月の会議の時に、外出の予定を立てて、実施する	6ヶ月
8	10	利用者、家族の意見を反映するための方法が不十分	利用者、家族の意見や要望を聞きホームの運営に生かすことが出来る	運営推進会議の議事録を家族へ送付する。アンケートや面会ケアプラン説明時に、家族の方にホームに対する意見、要望を求める。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

4					
5					

注)項目数が足りない場合は、行を挿入してください。